2022年6月2日掲載

ファイナルレポート：期待を上回るEuroCIS2022の成功

リテール業界のテック投資はこれまでにない熱さ

88か国・9010名の来場者が33か国345社の出展者らと活発に商談

デュッセルドルフで開催されたリテールテクノロジー業界をリードするメッセ「EuroCIS 2022」は、非常に高い成果を得て幕を閉じました。過去2年間のパンデミックによって、リテール業界のデジタル化が大きく進展したことを強く印象づける内容となりました。各社ともオムニチャネル戦略を大幅に加速させ、店舗のデジタル化に投資を行っています。

「展示会場全体が前向き、明るい未来を見据える空気でした。たくさんのお客様から期待をはるかに上回るもの結果だったという声をいただいております。ようやく、対面の商談に再注力ができる時期に来たといえます。」

―　メッセ・デュッセルドルフ取締役　ペトラ・クルマン

【EuroCIS2022　　開催概要】

・会期：２０２２年　5月31日～６月2日

・来場者数　＊（）内は前回2019：　88か国・9,010人　（９４か国・13,000人）

・出展者数　＊（）内は前回2019：　33か国・345社　　（３９か国・４８２社）

・展示面積：　10,721m²　（net）

コロナ禍によって2021年は中断を余儀なくされ、本年も1月から6月に開催延期となったうえでなおかつこれらの数字が得られたことが、明るいムードを生み出しました。

本メッセが業界に新たなパワーをもたらしたことは、出展者がすでに来年のEuroShopの一部として開催されるEuroCISの参加オプションについて熱心に尋ねていることにも表れています」

EuroCISプロジェクトディレクター　エルケ・メビウス

【今回のみどころ】

今年のEuroCISは、アナリティクス、決済・チェックアウトソリューション、コネクテッドリテール、オムニチャネル、AI、顧客中心マーケティング分野におけるイノベーションに焦点をあてています。

直感的な操作で会計ができる売店システム、タッチスクリーン機能をもつデジタルサイネージソリューション、インタラクティブなショップウィンドウなどのソリューションに、様々な国から集まったエキスパートたちも魅了されていました。また、顧客が商品についてインタラクティブに知ることができるLift & Learn（リフト＆ラーン）システムも展示されていました。これらの技術はすべて、バーチャルシェルフの拡張、顧客ロイヤリティの向上や収益の増加など、あらゆる面での付加価値をかたちづくるものです。EuroCISではまた、リテール業界の企業がサプライチェーン全体のすべてのプロセスにおいてワークフローを分析・最適化するための革新的なバックオフィステクノロジーも展示されました。

「EuroCIS 2022の成功は、今日の小売業においてテクノロジーの活用がいかに重要であるかを示しています。パンデミックがこの傾向をさらに加速させました。「スマートリテール」は、オンラインとオフラインを摩擦なく行き来できて、かつパーソナルなサービスを求める顧客へのお役立ちに、極めて重要な役割を担っています。」

―　EHI Retail Institute理事　ウルリッヒ・スパーン氏

次回のEuroCISは、EuroShop 2023の一部として、2023年2月26日から3月2日までデュッセルドルフで開催されます。